

WiSP部会
松本 夢

WiSP部の部屋

(女子部の部屋 改題)

「女子部会」改め、「WiSP部会」の松本です。
WiSPとは？

- ・賢く (Wise=ワイズ)
- ・インスペクター (inspector=インスペクター)
- ・洗練された上品で優雅な (Sophisticated=ソフィスティケイティッド)
- ・前向き、積極的に (Positive=ポジティブ)

「賢い(女性)インスペクター・前向きに積極的かつ上品で優雅に」という意味を込めて、部会の呼称をメンバーで意見を出し合い検討しました。

さて、先日、私はJSHI主催の「鎌倉の実地研修」に参加してきました。私は、まだインスペクターの若葉マークなので、このような機会があると知り、すぐに申し込みました。



今回の研修の場は、鎌倉にある中古の戸建。築年数が経っていて、図面等の情報がない状況の設定です。参加した研修は大変実務的で、「神奈川にある実家のインスペクションをお願いしたのですが、どうすれば宜しいですか？」と、インスペクションに関するメールの問い合わせからスタート。まさかのスタートだったので頭をフル回転で対応していきました。

午前の部は講師による実際のインスペクション実務を見学。昼食休憩を挟み、午後の部で実際にインスペクションを体験しました。

実務講習を受けて、実際にインスペクションを経験したのですが、百聞は一見に如かず。道具を使用している調査はなかなか大変でした。不具合の状況を記録しながら一連の流れが、手際が悪く時間もかかり、報告書を作成するのも必死でした…。

講師の清水様より、事前に調査を効率的に行うヒントを教えてくださいました。「建物に何が起きている可能性があるのか、形状を頼りに仮説を立ててみる」というアドバイスを受けたのですが、その言葉は、研修を進めるにつれ、ということなのかを実感でき、理解も大変深まりました。中でも私が一番楽しかったのは床下の診断です。人生で初めて床下に潜入した事です。床下は、普段の生活ではほとんど目にする機会はありませんが、建物にとって悪い影響を与える欠陥や劣化、不具合などが潜んでいる可能性が高い場所となります。建物のコンディションを確認するうえで、必ずチェックしておきたい場所のひとつだと改めて感じました。

今回、実務的なことをはじめ、ホームインスペクターとしての大事なマインドも学ばせていただきました。私のように実務に不安のある方は是非、参加されることをお勧めします！

最後に、自分に向けても残しておきたい“研修で学んだ言葉”で終わりにしたいと思います。「私たちは、JSHI公認のホームインスペクターであるということ。お客様はインスペクターを頼りに依頼をしています。」

こんな素敵な言葉をたくさん聞くことができ、魅力的な方々が在籍している協会に入会して本当に良かったです。これからはもっと自信を持って診断をしていきます。

NEXT ▶▶▶ No.5
野々田 桂さん